

## テーマ

## 【地区防災計画及び個別避難計画の検証（図上訓練）】

## 1 目的

牛根地区防災計画及び個別避難計画に基づいた  
災害応急対策の確認と課題の抽出

## 2 訓練実施日時

令和6年1月12日(金) 8:30~11:30

## 3 訓練実施場所

垂水市牛根地区公民館

## 4 訓練組織

- (1) 訓練責任者：総務課長
- (2) 訓練責任者補佐：危機管理監
- (3) 訓練指揮者：安心安全係長
- (4) 訓練アドバイザー：村野 剛（県防災アドバイザー）

## 5 訓練参加機関等及び関係団体（順不同）

- (1) 垂水市
- (2) 垂水市消防本部
- (3) 垂水市消防団（第8分団）
- (4) 垂水市自主防災組織連合会
- (5) 垂水市牛根地区各振興会
- (6) 牛根地区公民館

## 6 訓練参加者：40名

研修：始良市、鹿屋市、霧島市：計7名

# 令和5年度 垂水市桜島火山爆発総合防災訓練

## 訓練想定、状況付与等

	噴火想定	鹿児島地方気象台	鹿児島県	垂水市
第1状況	1/10 16:00 地殻変動が継続 1/11 09:00 火山性地震増加及び地殻変動  15:00 噴火警戒レベル4警戒範囲3km圏内 16:00	解説情報 解説情報（臨時） 噴火警報、解説情報 解説資料（図形式）	10:00 「第1回桜島火山防災連絡会」  15:00 災害対策本部設置 16:00 第1回県災害対策本部会議	情報連絡体制   災害警戒本部設置
第2状況	1/12 06:30 火山性地震活発化 M2地震を複数回観測 08:50 M2地震10回目観測  山腹噴火の可能性高まり 09:00 噴火警戒レベル4警戒範囲7km圏内	解説情報（臨時）  噴火警報、解説情報	08:00 「第2回桜島火山防災連絡会」	 災害対策本部設置 高齢者等避難（7km圏内住民）
第3状況	1/12 10:15 M5地震発生 1/12 10:30 噴火警戒レベル5警戒範囲7km圏内	噴火警報、解説情報	10:00 第2回県災害対策本部会議  11:00 「第3回桜島火山防災連絡会」 11:30 第3回県災害対策本部会議	避難指示（7km圏内住民） 広域避難指示（牛根地区住民）

# 状況付与14 【1月12日10時02分】

12日10時02分に手渡し

FMたるみず  
割り込み放送

- **垂水市災害対策本部**からのお知らせです。
- 鹿児島地方気象台は、本日10時に「桜島 噴火警報（居住地域）」を発表しました。
- 桜島の南岳山頂火口及び昭和火口から概ね7 km以内の居住地域（桜島全島及び垂水市の一部）では、大きな噴石及び火砕流に厳重な警戒（高齢者等避難）をしてください。
- この発表を受け垂水市は10時に災害警戒本部を廃止し災害対策本部を設置しました。桜島では、大規模な噴火の可能性がります。
- このため、松ヶ崎校区（**牛根麓**）及び協和地区全域に高齢者等避難を発令します。
- 開設した避難所は、垂水市市民館、垂水中央運動公園体育館、水之上地区公民館、水之上体育館、水之上小学校体育館の5か所です。

## 状況付与22 【1月12日10時50分】

12日10時50分に手渡し（状況付与の最後）

FMたるみず  
割り込み放送

- **垂水市災害対策本部**からのお知らせです。鹿児島地方気象台は、火山の状況に関する解説情報 第6号を発表しました。桜島に噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）を本日10時30分に発表。
- 桜島では、大規模な噴火の発生が切迫しています。桜島の南岳山頂火口及び昭和火口から概ね7 kmの以内の居住地域（桜島全島及び垂水市の一部）では、大きな噴石及び火砕流に厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。
- 大規模な噴火の発生が切迫している状況から、垂水市災害対策本部は10時30分に協和地区全域（785世帯1,412人）に避難指示を発令します。開設した避難所は、垂水市市民館、垂水中央運動公園体育館、水之上地区公民館、水之上体育館、水之上小学校体育館の5か所です。
- 牛根地区は海底火山の噴火に伴う津波の可能性があることから、牛根地区全域（772世帯1,295人）に霧島市への広域避難を指示します。霧島市の避難所は、霧島市国分武道館及び国分体育館です。
- 大規模噴火の発生が切迫しており、国道220号線は津波の可能性があることから避難経路は県道72号線垂水大崎線を必ず利用してください。

# 令和5年度 垂水市桜島火山爆発総合防災訓練



## I 成果

- 1 地区防災計画及び個別避難計画の実効性を確認
- 2 個別避難計画で以下の課題を抽出
  - (1) 平日は、支援者が不在の可能性
  - (2) 休日は、消防団員が不在の可能性
  - (3) 通学中の中学生、高校生が孤立する可能性
  - (4) 要配慮者が避難を拒否した場合の対応

## II 所見

- 1 課題については、個別避難計画の見直しで反映
- 2 風水害、地震、津波の訓練想定を作成
  - ➡ 市内9地区で地域特性に応じた図上訓練を計画